壁にも立ち向かえるのでしょうね。

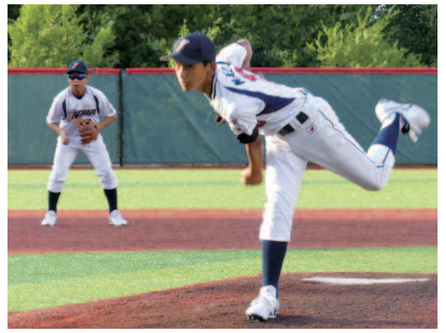
渡辺　国連で教育について学んだことで、勉強をできずに生涯を終えてしまう子どもたちが大勢いることもすごく身近に感じて、当たり前が当たり前じゃないんだということを改めて感じました。両親と離れて言葉が通じないアメリカに行く不安もありましたが、とても刺激になりましたし、今後に活かすことができると感じました。

　アメリカの、自分の国を大切にする心は素晴らしいことだと思う。自分の国に自信を持ち、世界の人たちに日本をアピールしたいです。

第17回U20世界陸上競技選手権大会で(フィンランド)

前田 悠伍（まえだ ゆうご）さん

(長浜市立高月中学校１年)
2018カル・リプケン12歳以下世界少年野球大会優勝、NPB（エヌピービー）12球団ジュニアトーナメント大会（オリックスバファローズJr（ジュニア））出場。モットーは、「感謝の気持ちを忘れずに、一つ一つのプレーに集中して、一生懸命に取り組むこと。」


2018カル・リプケン12歳以下世界少年野球大会で(アメリカ)

経験から学んだこと

澤　世界大会の選手の練習を見て分かったのは、結果だけを求めるのではなく、競技そのものを楽しんでいることです。競技中は苦しいですが、走る前には気楽にダンスしたりしているのを見て、陸上競技を楽しむことの大切さを知りました。

市長　楽しいと思えてこそ、苦難や

次へとつながる原動力

今井　連弾で弾くことやオーケストラとの共演もありますが、ピアノは基本的には孤独な楽器。演奏後にピアノを弾かない人や子どもさんからも率直な感想を聞くと嬉しいですね。そして、先生や家族、友達など、うまく弾けない時でも支えてくれた人に喜んでもらえることが、何よりも大きなやりがいです。

市長　私の仕事は、地元長浜を愛する気持ちがあってこそ。若い皆さんが、ふるさとを愛する気持ちを持ってくれるのは、とても嬉しいです。

市長　全盲のピアニスト辻井伸行（つじいのぶゆき）さんは、ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールでチャンピオンの座に輝いた時、「もし1日でも目が見えたなら、両親の顔が見たい」と語りました。苦難や挫折があっても支え続けてくれた両親への感謝を表したその言葉に、世界中の人が拍手を送りました。支える人がいて、それに感謝できる心があってこそ世界で活躍ができる人になれるのだと思います。

渡辺 瑚子（わたなべ ここ）さん

(長浜市立西中学校１年)
ＪＣＩ（ジェイシーアイ） ＪＡＰＡＮ（ジャパン）少年少女国連大使2017に選ばれ、ニューヨークの国連本部でUN（ユーエヌ） SDGs（エスディージーズ）への解決策をプレゼンテーション。その体験や活動、UN SDGｓの啓発活動を各所で開催。「常に新しいことにチャレンジしていきたいです。」

国連大使の仲間とアメリカ・ニューヨーク国連本部にて

支えとなる「言葉」

市長　私の座右の銘は、「至誠通天」。誠心誠意、一生懸命やれば必ず想いは天に通じる、という意味です。皆さんのモットーは何ですか。

渡辺　「折れない心は負けない気持ち、迷った時は前を見ろ！」です。悩むことや不安になることもありますが、前を見ることで先が見えてくると思うので、先のことを考えて、目の前のことを頑張っていこうと心がけています。勉強机にも貼ったこの言葉を見て頑張っています。

澤　私は、「原点回帰」です。行き詰まった時に新しいことをするのもいいですが、結果が出ない時は初心に戻って、陸上を楽しむことを意識して、日々の練習に繋げています。

夢に向かって

市長　30年続いた平成が終わり、新しい時代がスタートします。次の世代の人たちが夢や希望、誇りが持てるまちにしたいと思っています。

渡辺　長浜曳山まつりがユネスコ無形文化遺産に登録されたことは、長浜市民として大きな誇りですね。

前田　アメリカで2週間過ごして、長浜の住みやすさを実感しました。人と人とのつながりも温かいし、歴史も豊かでいいまちです。

市長　ありがとうございます。今後は、さらに人口減少や少子高齢化が進み、今まで経験したことがない社会現象にどう対応していくかが問われる時代に入ります。市政運営の合言葉「挑戦と創造」という大きな旗を掲げ、市民ぐるみで長浜の新時代を創っていきます。

　これから日本の代表として世界の舞台で頑張っていく皆さんは、困難や厳しい練習などもあると思いますが、高い志を持って、新年意気揚々とスタートしてくださいね。

前田　今年は、野球はもちろん、勉強も頑張り、文武両道をめざします。夢は、プロ野球選手になること。一軍で活躍し、新人王などの大きなタイトルを獲りたいです。

澤　今年は大学へ進学します。めざすのは大学日本一、そしてゆくゆくは東京オリンピックや次のパリオリンピックで活躍できるように頑張りたいです。

市長　とても大きな夢ですね。世界の舞台でも、皆さんを暖かく迎え、応援してくれるのは、ふるさとの長浜市民ですので、そのことを誇りにして頑張ってください。ご活躍を期待しています。